

NXP Tech Days Tokyo on Dec 10 (Wed): Time Schedule



Time	Track A (Hall D)		Track B (Hall C)		Tech Lab (Foyer & Room A)
10:00 - 10:15	開催のご挨拶 NXPジャパン株式会社 代表取締役社長 和島 正幸				
10:15 - 11:00	A-1	現場で使えるEdge AI～センサ・カメラ・生成AIの実践活用法 製造現場やIoTデバイスでのAI活用が進む中、NXPの「eIQ AIソフトウェア開発環境」は、センサによる異常検知、カメラによる画像認識、そして生成AIによる自然言語処理まで、幅広いニーズに対応。本セッションでは、eIQ Time Series Studio、eIQ Portal、eIQ GenAI Flowを活用した実践的なユースケースと、導入のポイントをわかりやすく解説。 NXPジャパン株式会社 上釜 悠聖	B-1	PLCやDCS向けの I/O機器（ローカル／リモート）の設計工数削減に貢献するAFE アナログ信号の高精度測定を要求されるPLC（Programmable Logic Controller）やDCS（Distributed Control System）といった産業機器アプリケーションでは、多くのバリエーションをカスタマイズできるソフトウェア定義型アナログ・フロントエンド（AFE）が最適。NXPの新しいアナログ・フロントエンドにて設計工数を短縮し、さらに安全機能を補完するポイントをご紹介します。 NXPジャパン株式会社 星野 茂美	
11:10 - 11:55	A-2	使いやすさの理由と差別化を生むNXPのWi-Fiユースケース 多様なニーズに応える製品群、各製品の優位点、差別化を可能にする各機能とユースケースをご紹介します。各認証を容易に取得する仕組みやすぐにご採用いただける各社のモジュールなど、お客様にとってのメリットを明快にご説明。 NXPジャパン株式会社 石橋 誠	B-2	開発環境、サポート完備！FRDMボードで広がる組込みマイコンの世界 <MCX開発ボード プレゼント：参加者全員> 汎用MCXマイコンのFRDM（Freedom）ボードを使った開発の始め方と各種リソースをご紹介します。IDEやSDKのセットアップは驚くほど簡単で、豊富なサンプルコードを活用することですぐに開発をスタート。日本語でのオンライン技術サポートや参考記事も充実しており、初めてNXP製品を使う方にも安心。これから組込み開発を始めたい方、プロトタイピングを加速させたい方に最適！ NXPジャパン株式会社 長島 溪太、岡野 彰文	
11:55 - 13:15	Lunch @Hall D/C & Explore Solutions @Tech Lab				Open: 10:45 Close: 16:30
13:15 - 14:00	A-3	セキュリティ法規制対応を見据えたLinuxベースIoT機器開発の課題 ～ コンテナOSによる長期運用とSBOM／OTA等への対応～ IoT機器に対するセキュリティ基準として日本でもJC-STAR制度がスタート。本セッションでは、YoctoやUbuntu/Debianベースの従来型Linuxディストリビューションにおける、技術要件への適合や長期運用における課題に対し、Armadillo Base OSによるアプローチをご紹介します。 NXPよりi.MXやSecure Elementのセキュリティ機能を紹介し、アットマークテクノより、JC-STAR☆1適合に向けた実践的な課題とその解決策を解説。 NXPジャパン株式会社 長島 溪太 株式会社アットマークテクノ 代表取締役社長 貴吉 智裕 氏	B-3	普及が進むI3Cバスの仕様とすぐに試せる動作環境 I²CとSPIの“いいとこ取り”を実現し、インバンド割り込みなどで低コスト化に貢献する最新のシリアル・インターフェース規格「I3C」。スマートフォンやPC／サーバー向けメモリでの採用が進み、昨今は組込み分野でも本格化。NXPではI3Cインターフェースを搭載したマイコン／プロセッサ、センサに加え、I3C向けのハブや信号電圧変換器などをラインアップ。本セッションではI²Cとの比較を交えながらI3Cの通信仕様を分かりやすく解説し、すぐに試せる評価ツールをご紹介します。 NXPジャパン株式会社 岡野 彰文	
14:10 - 14:55	A-4	CRA時代に求められるi.MX Linuxの長期サポートとセキュリティ ～組込み市場のプロセッサ & Linuxの老舗が実践的なヒントをお届け～ Zephyr、Linuxなどのオープンソース・ソフトウェアを活用する場合、適切なパッケージやバージョンの選定、さらにCRA対応のため製品出荷後の継続的なセキュリティ対策が必須。本セッションでは、組込みプロセッサ・リーダーの1つであるi.MX製品が市場で定評ある理由、そしてリネオソリューションズの長年の実績と豊富な経験をベースとする、i.MX Linuxを中心とした長期サポート（LTS）とセキュリティ対応の具体的な取り組みをご紹介します。 NXPジャパン株式会社 大林 久高 リネオソリューションズ株式会社 セールス・マーケティング統括部 八賀 雅人 氏	B-4	NXPモータ開発環境入門:PMSMとベクトル制御 モータ制御の初心者必見！永久磁石同期モータ（PMSM）の基礎から、ベクトル制御（FoC）の原理、PWMや電流測定などの制御システムの基本、そしてパラメータ設定についてNXPモータ開発環境を用いて解説。アニメーションを活用し、直感的な理解をサポート。 NXPジャパン株式会社 猪原 知俊	
14:55 - 15:30	Beverage Break & Explore Solutions @Tech Lab				
15:30 - 16:15	A-5	NXP x Zephyr® で加速するソフトウェア統合、共通化、再利用性の向上 組込み製品開発では多種多様な製品の開発を迅速に行うことが求められている。Zephyr RTOSを活用することで、マイコンからプロセッサまでスケラビリティを持ってソフトウェアの共通化を実現し、移植性・再利用性の課題をスマートに解決。本セッションではZephyrの特徴を解説し、GUI 設計ツールを使用して同一コードベースのアプリを複数の異なるプラットフォームで容易に動作させる様子を実演。 NXPジャパン株式会社 平賀 浩志	B-5	バッテリー認証とトレサビリティ強化 近年多発するモバイル・バッテリー発火事故や、非正規品による安全性の懸念、そしてEUでは2027年からスマートフォンのバッテリー交換が義務化され、バッテリーの真正性認証やトレサビリティ強化が急務となっている。NXPの認証技術とNFCによるセキュアな通信、データの一元管理、そしてスマホでの簡易な読取りなど、ユースケースを交えてご紹介。 NXPジャパン株式会社 篠崎 寿幸	
16:15 - 16:30	Reflect & Explore Solutions @Tech Lab				

※スケジュールは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。